

令和3年(2021年)度 第5回日本科学教育学会研究会(北関東支部開催)プログラム

[テーマ] 今求められる科学教育研究

[日時] 令和4年4月24日(日) 9:20~16:00

[会場] オンライン開催(試行)

[日程] 8:50~9:20 受付
9:20~9:30 開会(支部長挨拶・諸注意など)
9:30~10:50 研究発表(午前の部①)
10:50~11:00 休憩
11:00~12:20 研究発表(午前の部②)
12:20~13:30 昼食休憩(北関東支部総会)
13:30~14:30 研究発表(午後の部①)
14:30~14:40 休憩
14:40~16:00 研究発表(午後の部②)
16:00 閉会

座長 十文字 秀行(清真学園高等学校・中学校)

- A01 9:30-9:50 イギリスGCSE Biologyにおける必修プラクティカルワークの特質
○高間 智子(埼玉県立蕨高等学校/筑波大学大学院人間総合科学学術院)・山本 容子(筑波大学人間系)
- A02 9:50-10:10 科学の認識論の視点を考慮した探究活動におけるデータの役割の検討
—Duschlの認識論的プロセスに着目して—
○峯田 一平(筑波大学大学院人間総合科学学術院)・山本 容子(筑波大学人間系)
- A03 10:10-10:30 Conceptual Profile Theoryにおける異種混交性を反映した生物学の概念理解モデルの特徴
—進化分野「適応」概念を中心として—
○志賀 優(筑波大学大学院人間総合科学学術院)・山本 容子(筑波大学人間系)
- A04 10:30-10:50 高校生物におけるArgumentを導入した進化学習の実践的検討
—Argument-Driven Inquiry教授モデルに基づいて—
○安藤 友恵(明法中学・高等学校)・山本 容子(筑波大学人間系)
- 10:50-11:00 休憩

座長 遠藤 優介(筑波大学人間系)

- A05 11:00-11:20 中学校理科「自然と人間と科学技術」単元における「学びに向かう力、人間性等」の指導と評価の検討
○細田 直人(つくばみらい市立伊奈中学校)・山本 容子(筑波大学人間系)
- A06 11:20-11:40 ペットの再生医療に関する意思決定と合意形成のためのオンライン理科教材の開発
○福井 智紀(麻布大学)・飯嶋 遥蘭(元・麻布大学)
- A07 11:40-12:00 高等学校生物におけるDNAモデルを導入したNOSの理解
○十文字 秀行(清真学園高等学校・中学校)・宮本 直樹(茨城大学大学院教育学研究科)
- A08 12:00-12:20 中学校理科授業におけるマインドセットとストレス媒介過程との関連
○金澤 遼(茨城大学大学院教育学研究科)・宮本 直樹(茨城大学大学院教育学研究科)
- 12:20-13:30 昼食休憩(北関東支部総会)

座長 宮本 直樹(茨城大学大学院教育学研究科)

- A9 13:30-13:50 タイ国教師向けSTEM教育プログラムの開発と実施ー1
—UNESCO-SEAMEO-STEM教育センターのオンライン“Power Up”プロジェクトの事例—
○大隅 紀和(SEAMEO-STEM Ed. Center、京都教育大学名誉教授)・梅本 仁夫(OES研究所・岸和田工房)
- A10 13:50-14:10 教科の壁は取り払えるか
○渡辺 信(生涯学習数学研究所)
- A11 14:10-14:30 数学学習に対する意識の変容を促す課題解決学習の実践研究
—図書『フェルマーの最終定理』を題材に—
○岡佐古 拓也(鳴門教育大学教職大学院生)・佐伯 昭彦(鳴門教育大学)
- 14:30-14:40 休憩

座長 山本 容子(筑波大学人間系)

- A12 14:40-15:00 高等学校物理における生徒のエネルギー保存概念の理解に関する調査研究
○岡 裕一郎(栃木県立宇都宮工業高等学校)・遠藤 優介(筑波大学人間系)
- A13 15:00-15:20 中学生の理科のキャリアに対する低志向要因の分析
—生徒が保有する「科学資本」に着目して—
○小宮山 弘毅(湯沢町立湯沢中学校)・遠藤 優介(筑波大学人間系)
- A14 15:20-15:40 「ものづくり人材」の育成を目指した中学校理科授業に関する研究
○影山 貴大(津山市立北陵中学校)・遠藤 優介(筑波大学人間系)
- A15 15:40-16:00 ESDの視点からみた生活科カリキュラムに関する一考察
—ドイツにおける「事実教授(Sachunterricht)」のカリキュラムに着目して—
○遠藤 優介(筑波大学人間系)